

合同講義が実施可能な内容
(がん関連分野)

合同講義が可能な内容は、同じ色で示した①から⑰です。
[専門基礎科目]

緩和ケア	がん化学療法看護	がん性疼痛看護	乳がん看護	がん放射線療法看護	皮膚・排泄ケア
<p>1. 緩和ケア総論</p> <p>1) ホスピス・緩和ケアの歴史と理念、現状と展望①</p> <p>2) ホスピス・緩和ケアに関する概念・定義(ホスピスケア、緩和ケア、エンド・オブ・ライフ・ケア、ターミナルケア、支持療法等)</p> <p>3) 緩和ケアの対象(生命を脅かす疾患による問題に直面している患者・家族)</p> <p>4) 緩和ケア提供の時期(苦しみを予防すること)</p> <p>5) トータルペインの概念と全人的な理解 ②</p> <p>6) QOLの概念とQOLを高めるためのケア</p> <p>7) 対象を理解するために必要な概念 ③ (自己効力感・危機理論・セルフケア理論・ストレスコーピング・不確かさなど)</p> <p>8) ホスピス・緩和ケアの専門性と看護師の役割</p>	<p>15 1. がん看護学総論</p> <p>1) がん看護の専門性、発展と課題 ⑬</p> <p>2) がん医療チームにおける看護の役割 (1) 他職種の専門性の理解 (2) コミュニケーションの技術 (3) 医療チームにおける看護師の役割</p> <p>3) がん患者・家族の特徴 ⑭ (身体・心理・社会的・スピリチュアルな特徴、トータルペイン、がん患者のQOL、がん患者の家族、サバイバーシップ等)</p> <p>4) がん患者を理解するために必要な概念 ③ (セルフケア理論、ストレス・コーピング理論、危機理論、障害受容過程、家族看護理論等)</p> <p>5) がん患者とリハビリテーション ⑮ (1) 治療に伴うリハビリテーション (2) 機能維持のためのリハビリテーション</p> <p>6) がん患者とヘルスプロモーション</p>	<p>15 1. がん看護学総論</p> <p>1) がん看護の専門性、発展と課題 ⑬</p> <p>2) がん医療チームにおける看護の役割 (1) 他職種の専門性の理解 (2) 医療チームにおけるコミュニケーション技術 (3) 医療チームにおける看護師の役割</p> <p>3) がん患者・家族の特徴 ⑭ (身体・心理・社会的・スピリチュアルな特徴、トータルペイン、がん患者のQOL、がん患者の家族、サバイバーシップ等)</p> <p>4) がん患者を理解するために必要な概念 ③ (セルフケア、ストレス・コーピング、危機理論、障害受容過程、家族看護理論など)</p> <p>5) がん患者とリハビリテーション ⑮ (1) 治療に伴うリハビリテーション (2) 機能維持のためのリハビリテーション</p> <p>6) がん患者とヘルスプロモーション</p> <p>7) 緩和ケア概論 (1) ホスピス・緩和ケアの歴史と理念、現状と展望 ① (2) トータルペインの概念と全人的な理解 ②</p>	<p>30 1. 腫瘍学概論</p> <p>1) がん細胞の特徴 ④ (1) 細胞の構造(核、細胞質、細胞膜) (2) 細胞の発育過程(分裂、増殖、アポトーシス、シグナル伝達など) (3) がん細胞の特徴(発生のメカニズム、増殖、浸潤、転移)</p> <p>2) がんの疫学 (1) 統計(罹患率、死亡率) (2) がん登録システム</p> <p>3) 乳がん病態生理学</p> <p>4) 乳がんの疫学</p> <p>5) 乳がんの病期分類</p> <p>6) 乳がんの診断 (1) 画像診断 (2) 細胞・組織診断等</p> <p>7) 乳がんの集学的治療 (1) 手術療法 (2) 化学療法 (3) 放射線療法 (4) 内分泌療法等</p> <p>8) 治療と生殖に関する諸問題</p> <p>9) 乳がんと遺伝に関する諸問題</p> <p>10) 緩和医療 ①</p>	<p>30 1. がん看護学総論</p> <p>1) がん看護の専門性、発展と課題 ⑬</p> <p>2) がん患者・家族の特徴 ⑭ (がん患者のQOL、がん患者の家族、がんサバイバーシップなど)</p> <p>3) がん患者を理解するために必要な概念 ③ (セルフケア理論、症状マネジメントモデル、ストレス・コーピング理論、危機理論など)</p> <p>4) がんリハビリテーション ⑮</p> <p>5) がん患者とヘルスプロモーション</p> <p>6) 緩和ケア・エンドオブライフケア概論 ① (トータルペインの概念と全人的な理解を含む)②</p>	<p>15 1. 精神面のアセスメントとケア ※専門科目</p> <p>1) ストレスコーピング ③ (1) ストレス理論 (2) ストレスを引き起こす要因 (3) 治療とストレスマネジメント (4) 援助方法</p> <p>2) ボディイメージ (1) ボディイメージの定義 (2) ボディイメージの変化に対する適応</p> <p>3) 悲嘆 (1) 悲嘆の定義 (2) 悲嘆反応 (3) 援助方法</p> <p>4) 危機理論 ③ (1) 危機の定義 (2) 危機モデル (3) 危機介入</p> <p>5) 家族理論</p> <p>6) スピリチュアルケア</p> <p>7) セクシャリティ</p>
<p>2. がんとがんの集学的治療</p> <p>1) がん細胞の特徴 ④</p> <p>2) がんの疫学</p> <p>3) がんの診断</p> <p>4) がんの予防と検診</p> <p>5) がんの集学的治療 ⑤ 手術療法・薬物療法・放射線療法・免疫療法</p>	<p>15 2. ヘルスアセスメント</p> <p>1) アセスメントプロセス ⑯</p> <p>2) フィジカルアセスメント ⑥ (呼吸機能、循環機能、脳/神経機能、栄養代謝状態、感覚・運動機能等)</p> <p>3) 精神・心理的アセスメント ⑰</p> <p>4) 社会的アセスメント (成長発達段階と役割等)</p> <p>5) 家族のアセスメント</p>	<p>15 2. 腫瘍学概論1</p> <p>1) がん細胞の特徴 ④ (1) 細胞の構造(核、細胞質、細胞膜) (2) 細胞の発育過程(分裂、増殖、アポトーシス、シグナル伝達など) (3) がん細胞の特徴(発生のメカニズム、増殖、浸潤、転移、ゲノム)</p> <p>2) がんの疫学 (1) 統計(罹患率、死亡率) (2) がん登録システム</p> <p>3) がんの診断 (1) 診断方法(画像、腫瘍マーカー、血液検査、病理、遺伝子診断など)</p> <p>4) がんの予防と検診 (1) がんのリスク因子 (2) がん検診の有効性</p>	<p>15 2. がん看護学総論1</p> <p>1) がん患者を理解するために必要な概念 ③ (1) 女性のライフサイクル (2) ストレスコーピング理論 (3) 危機理論 (4) セルフケア理論 (5) セルフエフィカシー (6) 家族看護理論</p> <p>2) がん患者とリハビリテーション ⑮</p> <p>3) 乳がんの予防から終末期に至るまでの倫理的問題と看護師の役割</p>	<p>30 2. 腫瘍学概論 I</p> <p>1) がん細胞の特徴 ④ (1) 細胞の構造(核、細胞質、細胞膜) (2) 細胞の発育過程(分裂、増殖、アポトーシス、シグナル伝達など) (3) がん細胞の特徴(発生のメカニズム、増殖、浸潤、転移、ゲノム)</p> <p>2) がんの疫学 (1) 統計(罹患率、死亡率) (2) がん登録システム</p> <p>3) がんの診断 (1) 診断方法(画像、腫瘍マーカー、血液検査、病理、遺伝子診断など)</p> <p>4) がんの予防と検診 (1) がんのリスク因子 (2) がん検診の有効性</p>	

・2018年カリキュラム改正に基づき、緩和ケア、がん化学療法看護、がん性疼痛看護分野の内容を修正。
・2019年カリキュラム改正に基づき、がん放射線療法看護分野の内容を修正。

合同講義が実施可能な内容
(がん関連分野)

合同講義が可能な内容は、同じ色で示した①から⑰です。
[専門基礎科目]

緩和ケア	がん化学療法看護	がん性疼痛看護	乳がん看護	がん放射線療法看護	皮膚・排泄ケア
<p>3. 症状マネジメント総論</p> <p>1) 患者主体の症状マネジメントの必要性</p> <p>2) 症状マネジメントモデルの理解</p> <p>3) 症状マネジメントの統合的アプローチ</p> <p>4) 予防(取り除くことが可能な原因の除去、取り除くことが不可能な場合の対応)</p> <p>5) ヘルスアセスメント ⑥</p> <p>(1) フィジカルアセスメント (呼吸機能、循環機能、脳/神経機能、栄養代謝状態、感覚・運動機能等)</p> <p>(2) 精神・心理的アセスメント ⑬</p> <p>(3) 社会的アセスメント</p>	<p>3. 腫瘍学概論</p> <p>1) がん細胞の特徴 ④</p> <p>(1) 細胞の構造 (核、細胞質、細胞膜)</p> <p>(2) 細胞の発育過程 (分裂、増殖、アポトーシス、シグナル伝達など)</p> <p>(3) がん細胞の特徴 (発生のメカニズム、増殖、浸潤、転移、ゲノム)</p> <p>2) がんの疫学</p> <p>(1) 統計(罹患率、死亡率)</p> <p>(2) がん登録システム</p> <p>3) がんの診断</p> <p>(1) 診断方法 (画像、腫瘍マーカー、血液検査、病理、遺伝子診断など)</p> <p>4) がんの予防と検診</p> <p>(1) がんのリスク因子</p> <p>(2) がん検診の有効性</p> <p>5) がんの集学的治療 ⑤</p>	<p>3. 腫瘍学概論2</p> <p>1) がんの集学的治療</p> <p>(1) 手術療法</p> <p>(2) 薬物療法</p> <p>(3) 放射線療法</p> <p>(4) 免疫療法</p> <p>2) 各種疾患の特徴 (乳がん、肺がん、消化器がん、血液がんなど)</p>	<p>3. がん看護学総論2</p> <p>1) がん患者とヘルスプロモーション ⑮</p> <p>2) 健康教育</p> <p>3) フィジカルアセスメント ⑥ (呼吸機能、循環機能、脳/神経機能、栄養代謝状態、感覚・運動機能等)</p> <p>4) がん医療チームにおける看護の役割 ⑬</p> <p>(1) 他職種との専門性の理解</p> <p>(2) 医療チームにおけるコミュニケーション技術</p> <p>(3) 医療チームにおける看護師の役割</p>	<p>3. 腫瘍学概論Ⅱ</p> <p>1) がんの集学的治療 ⑤ (手術療法・薬物療法・放射線療法・免疫療法)</p> <p>2) IVR(Interventional Radiology)の対象と方法</p> <p>3) 造血幹細胞移植</p> <p>4) サイコオンコロジー</p> <p>5) 代替補完療法</p>	
<p>4. 喪失・悲嘆・死別</p> <p>1) 死と死にゆくプロセス</p> <p>2) 喪失・悲嘆・死別・服喪の理解</p> <p>3) 悲嘆のアセスメント</p> <p>(1) 予期悲嘆</p> <p>(2) 通常の悲嘆</p> <p>(3) 複雑性悲嘆</p> <p>4) 悲嘆や死別に対するケア</p> <p>(1) 患者の悲嘆に対するケア</p> <p>(2) 家族の悲嘆・死別に対するケア</p> <p>(3) ケア提供者の悲嘆・死別に対するケア</p>	<p>4. がんの医療サービスと社会的資源</p> <p>1) がんの医療政策 ⑦ (がん対策基本法、がん対策推進基本計画、がん登録等の推進に関する法律、診療報酬など)</p> <p>2) がん患者と家族が活用できる社会資源 ⑩ (高額療養費制度、在宅酸素療法など)</p> <p>3) がんと医療経済(治療費、就労問題等) ⑪</p> <p>4) 在宅医療の仕組みと法的枠組み ⑧</p> <p>5) 在宅医療を支える職種間の連携 ⑨</p> <p>6) 在宅で療養するがん患者と家族を支援する看護師の役割 ⑫</p>	<p>4. ヘルスアセスメント</p> <p>1) アセスメントプロセス ⑬</p> <p>2) フィジカルアセスメント ⑥</p> <p>(1) 呼吸機能</p> <p>(2) 循環機能</p> <p>(3) 脳・神経機能</p> <p>(4) 栄養代謝状態</p> <p>(5) 感覚・運動機能</p> <p>3) 心理・社会的アセスメント ⑬</p> <p>4) 家族のアセスメント</p>	<p>4. 乳がん看護概論</p> <p>1) 乳がんの発病がもたらす心理・社会的影響</p> <p>2) 乳がん患者・家族のセクシュアリティ</p> <p>3) 各病期における乳がん患者・家族の特徴と看護の原則</p>	<p>4. ヘルスアセスメント</p> <p>1) アセスメントプロセス ⑬</p> <p>2) フィジカルアセスメント ⑥ (呼吸機能、循環機能、脳/神経機能、栄養代謝状態、感覚・運動機能等)</p> <p>3) 精神・心理的アセスメント ⑬</p> <p>4) 社会的アセスメント</p> <p>5) 家族のアセスメント</p>	
<p>5. がんの医療サービスと社会的資源</p> <p>1) がんの医療政策 ⑦ (がん対策基本法、がん対策推進基本計画、がん登録等の推進に関する法律、診療報酬など)</p> <p>2) 在宅医療の仕組みと法的枠組み ⑧</p> <p>3) 在宅医療を支える職種間の連携 ⑨</p> <p>4) がん患者とその家族が活用できる社会資源 ⑩ (高額療養費制度、在宅酸素療法など)</p> <p>5) がんと医療経済 ⑪ (治療費、就労問題等)</p> <p>6) 在宅で療養するがん患者と家族を支援する看護師の役割 ⑫</p>		<p>5. がんの医療サービスと社会的資源</p> <p>1) がんの医療政策 ⑦ (がん対策基本法、がん対策推進基本計画、がん登録等の推進に関する法律、診療報酬など)</p> <p>2) がん患者と家族が活用できる社会資源 ⑩ (高額療養費制度、在宅酸素療法など)</p> <p>3) がんと医療経済 ⑪ (治療費、就労問題など)</p> <p>4) 在宅医療の仕組みと法的枠組み ⑧</p> <p>5) 在宅医療を支える職種間の連携 ⑨</p> <p>6) 在宅療養するがん患者と家族を支援する看護師の役割 ⑫</p>	<p>5. がんの医療サービスと社会的資源</p> <p>1) がんの医療政策 ⑦</p> <p>(1) 診療報酬</p> <p>(2) がん診療連携拠点病院</p> <p>(3) 相談支援センター等</p> <p>2) がん患者と家族が活用できる社会資源 ⑩</p> <p>(1) 高額療養費制度</p> <p>(2) 在宅悪性腫瘍指導管理料</p> <p>(3) 在宅酸素療法等</p> <p>3) がんと医療経済 ⑪</p> <p>(1) 治療費</p> <p>(2) 就労問題等</p> <p>4) 退院支援</p> <p>(1) 支援を要する患者のスクリーニング</p> <p>(2) 退院調整等</p> <p>5) 訪問看護師の役割 ⑫</p> <p>6) 在宅医療を支える職種間の連携 ⑨</p>	<p>5. がんの医療サービスと社会的資源</p> <p>1) がんの医療政策 ⑦ (がん対策基本法、がん対策推進基本計画、がん登録等の推進に関する法律、診療報酬など)</p> <p>2) がんのチーム医療 ⑪ (放射線腫瘍医、放射線技師、がん看護専門看護師、他の認定看護師など)</p> <p>3) がん患者と家族が活用できる社会資源 ⑩ (高額療養費制度、在宅悪性腫瘍指導管理料、在宅酸素療法など)</p> <p>4) がんと医療経済 ⑪ (治療費、就労問題など)</p> <p>5) 在宅医療を支える職種間の連携 ⑨</p> <p>6) 在宅療養・外来通院するがん患者と家族を支援する看護師の役割⑫</p>	

・2018年カリキュラム改正に基づき、緩和ケア、がん化学療法看護、がん性疼痛看護分野の内容を修正。
・2019年カリキュラム改正に基づき、がん放射線療法看護分野の内容を修正。

合同講義が実施可能な内容
(がん関連分野)

合同講義が可能な内容は、同じ色で示した①から⑰です。
[専門基礎科目]

緩和ケア	がん化学療法看護	がん性疼痛看護	乳がん看護	がん放射線療法看護	皮膚・排泄ケア
				<p>6. がん放射線療法概論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 放射線療法の動向 2) 放射線物理学 放射線療法に用いられる放射線の種類と特徴 (X線、β線、γ線、粒子線など) 3) 放射線生物学 放射線の生体に及ぼす影響(照射の量、回数、間隔) (1)細胞の放射線照射による効果 (2)組織、臓器の放射線照射効果、分割照射における組織の放射線感受性 (3)放射線による各臓器の耐容線量 4) 放射線療法の治療目的 (1)放射線治療の目的 (2)目的別照射法の適応と方法 ①根治的放射線療法 ②予防的放射線療法 ③緩和的放射線療法 5) 放射線照射法の種類と治療装置 (1)外部照射法 ①照射法:固定照射法、運動照射法IMRT(強度変調放射線治療)、SRI(定位放射線照射)、IGRT(画像誘導放射線治療) ②治療装置:リニアック治療装置、陽子線治療装置、重粒子線治療装置、定位放射線治療装置 ③術中照射、全身照射 (2)密封小線源治療 (高線量率、低線量率、腔内、管腔内、組織モールド、一時挿入、永久挿入) (3)非密封小線源治療(放射線核種 (R)内用法) (4)特殊治療(術中照射、全身照射) 6) 放射線治療計画 (1)診断・治療方針の決定、集学的治療における位置づけ 部位及び総線量、分割法、併用療法 (2)放射線治療における照射範囲・深さ・角度の設定方法 ①照射範囲設定の原則(GTV・CTV・PTVなど) ②照射方法別照射範囲設定方法 ③線量分布図、DVH 7) 効果判定、有害事象毒性基準 (固形がん、造血器腫瘍) 	30
				<p>7. がん放射線療法看護概論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) がん放射線療法を受ける患者の特徴 2) がん放射線療法看護の特徴 3) がん放射線療法の医療チームにおける看護の役割 4) がん放射線療法看護認定看護師の役割(実践・指導・相談) 5) がん放射線療法を受ける患者・家族の意思決定支援 	15

・2018年カリキュラム改正に基づき、緩和ケア、がん化学療法看護、がん性疼痛看護分野の内容を修正。
・2019年カリキュラム改正に基づき、がん放射線療法看護分野の内容を修正。